

Face Talker（フェース トーカー）箱型

取扱い説明書

ver 2.0

混信・妨害についてのご注意

次のような場所では混信・妨害が発生する場合がありますので注意を要します。

- 1) 劇場、ホール
- 2) 展示会などのイベント会場
- 3) 会議施設

混信・妨害とは

- ① こちらの音声が目撃しない相手の受信機で聴こえる、または妨害をする。
 - ② 目撃しない相手の声はこちらの受信機で聴こえる、または妨害される。
- といったことですので、お互いにとって望ましいことはありません。

・混信・妨害を起こす場合の対応

9, 10 ページ、チャンネルの確認設定方法を参照、対応ください。

*本機は免許の必要がない 800MHzB 帯の特定小電力帯域を使用していますので、申請等の必要はありませんが、混信については注意してお使いください。

目次

混信についてのご注意	1 ページ
特長	2 ページ
安全上のご注意	2 ページ
正しくお使いいただくためのご注意	3 ページ
送信機 GT-T8B 基本的な使い方	4 ページ
応用的な使い方	5 ページ
受信機 GT-R8B 基本的な使い方	6,7 ページ
応用的な使い方	8 ページ
チャンネル確認、設定方法	9 ページ
混信、妨害について	10 ページ
故障と思われたときは	11 ページ
製品仕様	12 ページ
保障について	12 ページ

特長

- 話し手の声も自分の声も良く聞こえ、スムーズに会話ができます。

送信機のマイクで拾った話し手の音声を、受信機のイヤホンで聴きます。

受信機のイヤホンマイクのマイクで拾った自分の声も、イヤホンで聴こえます。

双方の声がよく聴こえるので、スムーズに会話ができます。

- ハンズフリーで使用できます。

ポケットに入れる、ベルトに取り付ける、首に掛ける（ストラップが必要）

などの方法で機器を装着しますと、両手を自由に使うことができます。

- 子音を聴き易くすることができます。

高域設定スイッチの切り替えにより、高い周波数を強調することが可能です。

子音が、より聴き易くなります。

- 集音器としても使えます

受信機のマイク切り替えスイッチを“集音”にしますと、集音器として使えます。

集音器として周りの音を確認しながら移動して、目的地で会話器に戻して使えます。

- テレコイル内蔵の補聴機器でも使用できます。

別売のテレコイルアダプターを使用して、補聴器を T ポジションにしますと、

ご自分の補聴機器で聞くことができます。

安全上のご注意

製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々の安全や財産を守るとともに、故障なく使用いただくために、以下の事項をお守りください。

警告 ■ 本製品を分解・改造しない。

発火、感電の原因となります。

■ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。

故障、電池の漏液、発火、破裂、火災の原因となります。

■ 電波の使用が禁止されたところでは使用しない。

飛行機内等、電波の使用が禁止された場所では使用できません。

■ 日本国内のみで使用できます。

電波に対する法令が異なるため、外国での使用はできません。

■ 両耳にイヤホンを装着したままの車の運転は行わない。

注意 ■ 本製品を濡らさない。

故障、発熱、感電の原因となります。 この受信機は、電池蓋を閉じた状態では防滴構造となっておりますので、水滴がかかった場合には乾いた布などで拭き取っていただければ問題なく使用いただけます。

■ 湿気やほこりの少ない場所で使用・保管する。

発火、感電の原因となることがあります。

正しくお使いいただくためのご注意

快適にお使いいただくために、以下の事項をお読みいただき正しくお使いください。

■イヤホンマイクについて

- 添付のイヤホンマイクのマイクで自分の声を聞くことができます。
電池蓋を開けると、マイクの切り替えスイッチがありますので、オンにします。
- スマートフォンに繋いで、このイヤホンマイクで電話をすることができます。
(受信機の横の外部接続端子とスマートフォンのイヤホンマイク端子を添付の4極コードで繋がします)

■テレコイルアダプター（別売り）について

- テレコイルアダプターを使用すると、テレコイル内蔵の補聴器で聴くことができます。
- テレコイルアダプターのプラグを受信機のイヤホン端子に差し、磁気コイル部は補聴器をする側の耳に掛けます。そうしますとテレコイルアダプターの磁気コイル部と補聴器の中のテレコイルが磁気結合し、音が伝わるようになります。
- どちらのイヤホン端子も使用可能ですので、片耳でも両耳でも使用できます。

■ハウリングについて

- ハウリングとは、イヤホンとマイクが近づき過ぎて「ピー」「キーン」という大きな音が継続する現象です。

ハウリングが発生した場合、下記のようにしてください。

*イヤホンをマイクから離す。

(イヤホンをお使いにならない場合は、イヤホンジャックから外してください。)

*ボリュームを回して音量を小さくする。

■マイクの風切音について

- マイクに風が当たって、その音が気になる場合には以下をお試しく下さい。

* 解消する場所が捜せる場合は移動する。

* マイクに直接風が当たらないように、手の平でガードする。

* 常時風が気になる環境でお使いになる場合は、弊社にご相談ください。

風防（別売）を用意いたします。

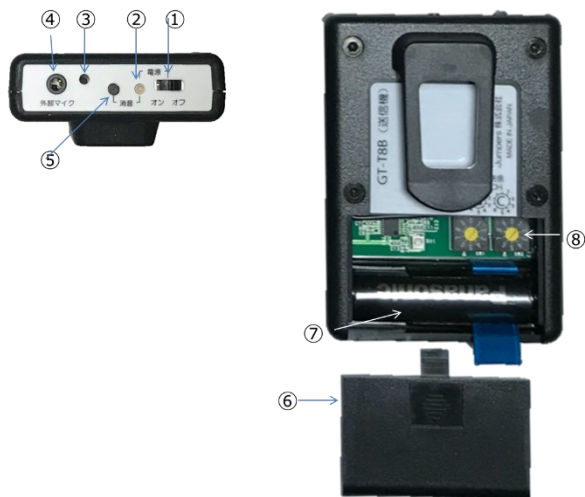
■ペースメーカーなどについて

- 本機は受信機ですので、不要な電波を出しません。

また本機とペアで使用する送信機は特定小電力無線機器で技術適合証明を受けておりますので、ペースメーカーなどに影響を与えません。

(電波の強さは一般的なワイヤレスマイクと同等です。)

送信機 GT-T8B 基本的な使い方



1. 各部の名称と働き

- | | |
|-----------------|---|
| ① 電源スイッチ | : 電源をのオンオフします。 |
| ② 状態表示ランプ | : 電源オン時に緑色に点灯します。
: 電池が消耗すると赤色に点灯します。
: マイクの音のミュート時は橙色に点灯します。 |
| ③ 内蔵マイク | : 内臓マイクで、話し手の声を集音します。 |
| ④ 外部マイク端子 | : 外部マイクを接続します。内蔵マイクは切れます
(ピンマイク型、ヘッドセット型、スタンド型) |
| ⑤ 消音スイッチ | : 送信するマイクの音を消音⇄消音解除します。 |
| ⑥ 電池蓋 | : 電池交換やチャンネル設定の場合に開閉します。 |
| ⑦ 電池ボックス | : 推奨の充電式電池、市販の単3電池を挿入します。 |
| ⑧ 送信チャンネル設定スイッチ | : 送信するチャンネルを設定します。 |

2. 使用時の手順

- 準備** 電池蓋を開けて、⊕ ⊖ 表示に合わせて単3形乾電池を1本挿入する。
本体を、ポケットに入れる、ベルトクリップで付ける、首に掛けるなど固定します。
- 使用開始時** 電源スイッチをオン側に動かす→状態表示電源ランプが点灯します。
- マイクの消音** 消音スイッチを押すと、マイクの音が消音され、聞き手には伝わりません。状態表示ランプが橙色に点灯します。
消音スイッチをもう1度押すと、マイクの音が聞き手に伝わり状態表示ランプが緑色に点灯します。
- 使用終了時** 電源スイッチをオフ側に動かす→状態表示ランプが消灯します。

送信機 GT-T8B 応用的な使い方

3. 内蔵マイクを使う

- ① ハンドマイクとして使う
本体を手を持って、ハンドマイクとして使います。
レベル制限が掛かりますので、口を近づけても不快な音量にはなりません。
- ② テーブルに置いて集音する
小グループで話す場合、本機をグループの中央に置いて集音します。
ただ、口とマイクの距離が遠いと、聴き取り難い場合があります。

4. 外部マイクを差して使う

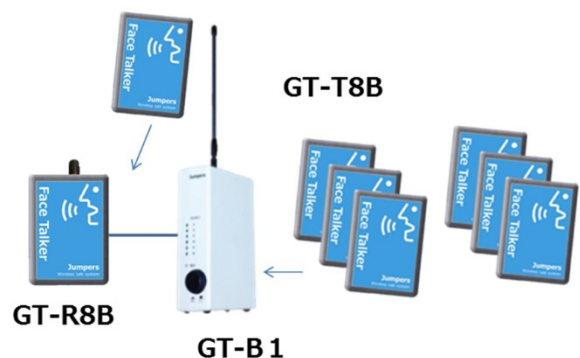
- ① ヘッドセット型を使う（顔を動かしても、マイクと口は離れません）
口とマイクの距離は 近い方が はっきりと集音できます。
講義など場合、先生の声ははっきり聞こえます。UD トークなどの音声-文章変換アプリケーションに掛ける時も、集音にはヘッドセット型が最適です。
- ② ピンマイク、クリップマイクを使う（顔の角度で口とマイクが離れます）
このタイプのマイクを使う場合も、なるべく口に近くマイクを取り着けます。
マイクのワイヤーが引っかからないように気を付けます。
- ③ 卓上スタンド型を使う（口とマイクが離れます）
話し手としては、マイクを装着しないので、使い易いと思いますが、
口とマイクが離れていると聞こえ難い方も居ますので、話す時はマイクに口を近づけて話すようにするのが肝要です。

5. TV の音を入れて飛ばす

予め、レベルを下げておきます。
3 極ケーブルで TV のイヤホン端子と本機の外部マイク端子を繋ぎます。
TV のイヤホン側の音量を聞き易いように適宜調節します。

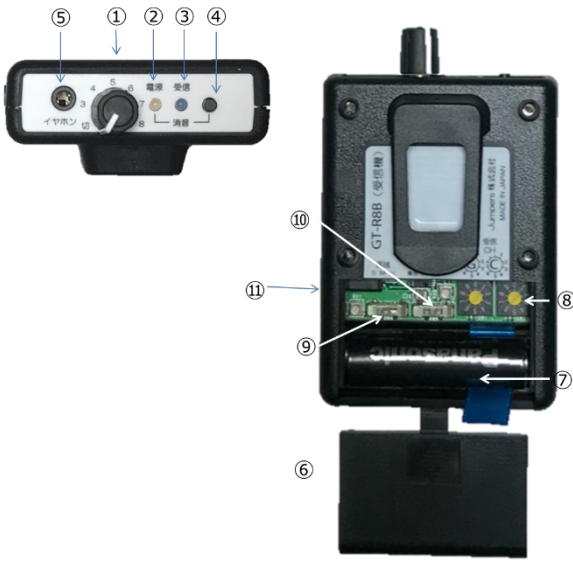
6. 複数人の声を明瞭に聞く

3.②でテーブルに1つのマイク置いて集音する場合、
個々の人の口とマイクの距離が遠くなって、その距離では、
聴き取りが困難な場合があります。
その場合、弊社のグループターに
複数の受信機（GT-T8B）を
組み合わせて使いますと、
明瞭な個々の声を集めることが
できます。



受信機 GT-R8B 基本的な使い方

1. 各部の名称と働き

- 
- ① スイッチ付きボリューム
右に回すと電源が入ります。
さらに回して音量を調節します。
左に「切」表示まで回すと電源が切れます。
- ② 状態表示ランプ
電源オン時に緑色に点灯します。
電池が消耗すると赤色に点灯します。
受信音の消音時は橙色に点灯します。
- ③ 受信ランプ
電波を受信した場合に青く点灯します。
- ④ (受信音) 消音スイッチ
送信機からの受信音を消音/消音解除します。
- ⑤ イヤホンマイク端子 : イヤホンマイクを接続します。
1) マイク付きイヤホンの場合
そのマイクで自分の声を集音できます。
イヤホンで音を聞きます。
2) イヤホンの場合、音を聞きます。
3) テレコイルアダプターの場合、Tコイル内蔵の補聴器、人工内耳に音を伝えます。
- ⑥ 電池蓋 : 電池交換や各種設定の場合に開閉します。
- ⑦ 電池ボックス : 推奨の充電式電池、市販の単3電池を挿入します。
- ⑧ 受信チャンネル設定スイッチ : 受信するチャンネルを設定します。
- ⑨ 高域設定スイッチ : 音声の高い周波数帯域を強調できます
- ⑩ マイク切り替えスイッチ
オン : イヤホンマイクの音を聞きます。
オフ : イヤホンマイクの音を切ります。
集音 : 音が大きくなり、集音器として使えます。
- ⑪ 外部接続端子 : グループトークやスマートフォンを繋ぎます。

2. 付属品

マイク付きイヤホン

Φ3.5 mm 4極ケーブル (スマートフォンと繋ぐ、グループトークの音を聞く時)

3. 使用時の手順

標準的な使い方として、以下の手順で使用します。

●準備

- ① 電池蓋を開けて、⊕ ⊖ 表示に合わせて単3形乾電池を1本挿入する。
- ② マイク付きイヤホンをイヤホン端子に接続する
- ③ 本体を、ポケットに入れる、ベルトクリップで付けるなど固定します。。

●使用開始時

- ① イヤホンを耳に装着する。
- ② スイッチ付きボリュームを回し電源を入れる。→ 状態表示ランプが点灯します。
- ③イヤホンからの自分の声を、ボリュームを調整して聞きやすい音量にします。

●使用終了時

- ① スイッチ付きボリュームを回し、電源を切る。→状態表示ランプが消灯します。
- ② イヤホンや受信機を体から外す。

スイッチの設定

① マイクモニターのオン/オフ/集音

- ・通常はオンで自分の声をモニターします（聴覚フィードバック）。
- ・オフにしますと、マイクの音が切れます。

* スマートフォンと繋いで、電話をする場合は必ずオンにして使います。

- ・集音 の位置にしますと、マイクモニター音を通常より大きくしますので、集音器として使うことができます。

② 高域強調モード （各部の名称と働きの⑩を参照）

子音や濁音には高い音の成分が多く含まれています。

その高い成分を強調しますと、子音が聴きとり易くなる場合があります。

- ・電池蓋内部の高域設定スイッチを「S」「M」または「H」に切替える。
- ・設定内容は以下の通りです。

S：標準位置 M：中程度に強調します H：最大に強調します。（ハイモード）

受信機 GT-R8B 応用的な使い方

1. 集音器として使う

イヤホンマイクを使います。

電池蓋マイク切り替えを 集音 に設定します。

移動中は集音器として周りの音を聞いて移動し、目的地では送信機からの音を聞く会話器として使うといった使い方ができます。

もちろん、相手に送信機を持ってもらい 話しながら移動することもできます。

2. スマートフォンと繋いで使う

添付の4極ケーブルで本機の横の外部接続端子とスマートフォンのマイクイヤホン端子を繋ぎます。

① 音声-文章変換アプリを使う

注1) 送信機からの音、自分のマイクの音がスマートフォンに伝わります。

必要、不必要で夫々の音のオンオフを設定して使ってください。

注2) 口とマイクの距離は 近い方が はっきりと集音できます。

- ・講義など場合、先生に送信機を持ってもらい この受信機に声を送りこの受信機からケーブルを通してスマートフォンに音声を送ります。

(集音にはヘッドセット型のマイクが最適です。)

イヤホンマイクを繋いでいる場合は マイクをオフにして送信機の音だけにします。

- ・自分の声をアプリに掛ける場合は、マイクスイッチをオンにします。受信音を消音しておく場合は 消音スイッチで消音します。

② 電話をする

本機のイヤホンマイクを繋いだまま、そのまま電話ができます。

マイクをオンにしておく必要があります。

高域スイッチをHに設定しますと、子音が聞き易くなりますので高齢者の場合、電話の聞取りが良くなる場合がありますので、お試しください。。

③ 録音・再生をする

スマートフォンのアプリで受信した音、自分のマイクで拾っている音を録音できます。過去の録音した内容をスマートフォンで再生すれば、本機で聞くことができます。

3. 他の機器の音を聞く

① グループトークの音を聞く

送信機の応用的使い方 6. にありますように、複数人(6人)の声をグループトークに集め、本機ペアの送信機と合わせて7人の声を集められます。

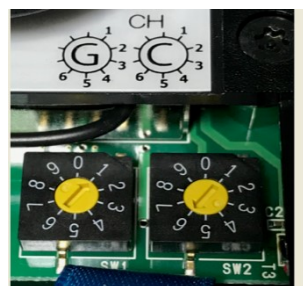
② TV、ラジオ、CD プレイヤーなどの音を聞くことができます。

但し、本機は 会話器仕様の為、モノラル(Lch)での再生になります。

チャンネル確認、設定方法

電池蓋を開けますと右側に、「G」「C」で表示されたロータリースイッチがあります。

チャンネル番号は ARIB 規格の B21 という表現の「G」が10の位に「C」が1の位に対応しています。



例 B21 チャンネルに設定する場合

「G」は矢印が2の方向に、「C」は矢印が1の方向に向くようにスイッチを回します。

- チャンネル番号と周波数の関係は「800MHz 帯チャンネルリスト」を参照ください。

800MHz 帯 チャンネルリスト

チャンネル番号		ARIB 規格	周波数 (MHz)	グループ					
GT-R800 「G」	「C」			1	2	3	4	5	6
1	1	B11	806.125	●					
2	1	B21	806.250		●				
1	2	B12	806.375	●					
2	2	B22	806.500		●				
3	1	B31	806.625			●			
4	1	B41	806.750				●		
3	2	B32	806.875			●			
2	3	B23	807.000		●				
1	3	B13	807.125	●					
6	1	B61	807.250						●
3	3	B33	807.375			●			
4	2	B42	807.500				●		
5	1	B51	807.625					●	
1	4	B14	807.750	●					
2	4	B24	807.875		●				
4	3	B43	808.000				●		
5	2	B52	808.125					●	
3	4	B34	808.250			●			
5	3	B53	808.375					●	
2	5	B25	808.500		●				
3	5	B35	808.625			●			
5	4	B54	808.750					●	
2	6	B26	808.875		●				
1	5	B15	809.000	●					
4	4	B44	809.125				●		
3	6	B36	809.250			●			
4	5	B45	809.375				●		
1	6	B16	809.500	●					
5	5	B55	809.625					●	
4	6	B46	809.750				●		

混信、妨害について

使用周波数が同一の場合や、上下に1つ隔たった周波数のチャンネル間では混信、妨害が発生することがあります。その場合、一度送信機の電源を切ります。

- ① そのまま、こちらの使用を止めて相手への混信、妨害を解消するか、
- ② 送信機と受信機の双方を、相手の使用チャンネルの周波数の上下どちらかに2つ以上隔たった周波数のチャンネルに設定することにより混信が避けられます。

■チャンネル設定が必要な場合

1. 送信、受信の組み合わせペアを複数にする場合（基本的には事前に設定、出荷します。）

病院、老人用施設、難聴者の集まり等にて、複数ペアで使用したい場合があります。

1) 2～6ペアの場合、

800MHz 帯チャンネルリストのグループが同じになるようにします。

例：グループ1の場合、B11、B12、B13、B14、B15、B16の中から選びます。

*グループでまとめた場合は、お互いの電波の干渉が少なく、安定して使えます。

2) 7～15ペアの場合

800MHz 帯チャンネルリストのグループの周波数を1つ置きに使用していきます。

① B11、B12、B31、B32・・・B55 の15チャンネルの中から選ぶか、

② B21、B22、B41、B23・・・B46 の15の中から選びます。

*機器が近づき過ぎて混信が起きる場合は、離れる（50cm～3m）と解消します。

2. 劇場、ホールの場合

- 施設によっては補聴システムを備えています。主催者、管理者に確認してください。
- 場内では送信機の電源を切ってください。携帯電話の音を消すのと同じマナーです。
- ロビー等で話したい場合も事前に、主催者、管理者に、ご自分の使用チャンネルが設備に対して混信を起こさないかを確認してください。

混信の可能性のある場合は相談の上、チャンネルを決めて変更してください。

- 劇場、ホール等では同一グループでチャンネルを設定している場合が多く、グループ内の空きチャンネルがある場合はそこを使用すると安定して使えます。

例えばグループ1のB11～B15を使用している場合、B16が使えます。

3. 展示会などのイベント会場、会議施設

- 必ず、事前に主催者、管理者に、ご自分の使用チャンネルが混信を起こさないかを確認して、混信の可能性のある場合は相談の上、チャンネルを決めて変更してください。
- 大きなイベント、大きな会議施設等の場合、空チャンネルが無い場合もあります。残念ながら、その場所では本機のご使用をお控えください。

故障と思われたときは

症状	確認事項 原因	対応法	参照 ページ
電源を入れても、 電源ランプが点灯 しない。	電池は正しく入って いますか？	電池を正しく入れてください。	4,6
	電池切れになっていま せんか？	充電済みの充電式電池、または、新品の単3 形乾電池に交換してください。	4,6
電源ランプが 赤く点灯する。	電池が消耗していま す。	充電済みの充電式電池、または、新品の単3 形乾電池に交換してください。	4,6
電源を入れても 音が出ない。	ボリュームを回してい ますか？	スイッチ付きボリュームを適正音量になるま で回してください。	6
	マイクスイッチをオフに していませんか？	⑩マイク切り替えスイッチをオンにし ます。	6
	話し手の声が聞こえま せんか？	送信機の電源を入れます。消音状態(ランプ が橙)なら、消音スイッチを押します。	4
雑音が出る、 音が途切れる。	送信機から離れた場所 にいませんか？	通信可能範囲外です。送信機に近づいてくだ さい。	
	金属で囲まれた部屋の 外部や鉄筋の建築の上 下階に移動していま せんか？	電波が遮断されていますので、受信しにくい 状況です。受信できるまで送信機に近づいて ください。	
送信機の電源を切 った時「ザー」と いうノイズが聞こ える	送信機の電源を入れ ば正常に動作しま すか？	受信感度が高くなっている場合、もしくは使 用している周囲環境のノイズレベルが上が った時に発生します。 故障ではありませんがノイズが気になる場 合には弊社に連絡ください。	
混信、妨害が起き る。	同じ周波数の電波を使 用している場所や人 に近づいていませんか？	混信についてのご注意 をご覧ください。 同じ機器を持つ人が近くに居る場合はチャ ネルを変更すれば解消します。	1
	近くに携帯電話など の電子機器がありま せんか	それらの電子機器の電源を切るか、離れて みてください。	

製品仕様

型名	送信機 GT-T8B 受信機 GT-R8B	
使用周波数帯域	800MHz 帯（特定小電力無線局ラジオマイク用無線設備） 806.125MHz～809.750MHz 30ch	
音声出力周波数特性	150Hz～15KHz（受信機 イヤホン出力端子）	
サイズ(最大外形)	67 mm(W) x 92 mm(H) x 21 mm(D)	
重量	GT-T8B：87 g (本体のみ) 117g (単3エネルギーPRO) GT-R8B：95 g (本体のみ) 125g (単3エネルギーPRO)	
電源	単3形乾電池 1本	
電池持続時間	GT-T8B 約10時間：単3エネルギーPRO 約6時間：単3形アルカリ電池 GT-R8B 約12時間：単3エネルギーPRO 約8時間：単3形アルカリ電池	
内蔵マイク標準感度	-56 dB	エレクトレットコンデンサーマイク型
出力（受信機）	最大 11mW/ch、定格 0.3mW/ch	

保証について

無償保証期間

- ・納入日より1年以内の通常使用での故障につきましては、無償にて修理いたします。
- ・保証期間を経過したものの修理は有償となります。

無償保証期間内の有償修理対象となるもの

- ・イヤホン。
- ・お客様の故意または過失により生じた故障の修理。
- ・天変地異による故障または損傷の修理。

修理保証以外の補償

- ・修理保証以外の補償はいたしかねます。営業上の機会損失は補償いたしません。

お問い合わせ先

Jumpers株式会社 カスタマーセンター

〒370-3522 群馬県高崎市菅谷町818-8

TEL/FAX : 027-372-3039

メールアドレス : jumpers@jumpers.co.jp